

令和4年9月吉日

関係各位

松戸市医師会会長 川越 正平
在宅ケア委員会
担当理事 川越 正平
委員長 石島 秀紀
副委員長 高田 丈

令和4年度 第2回アウトリーチ事例検討会開催および教育セミナーご案内

時下 皆様におかれましては益々ご清栄のことと存じます。日頃より在宅医療・介護連携推進事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、松戸市医師会では、地域包括支援センター、介護支援専門員、相談支援専門員等の皆様が直面している解決困難な事例について、地域サポート医、専門サポート医、認知症サポート医が医療的、医学的見地から、助言や相談支援を行い、必要に応じてアウトリーチ（訪問支援）を実施しています。

本事例検討会はアウトリーチ事例のうち、令和3年度および4年度上半期の事例について検討を行い、ご担当いただいた地域サポート医・専門サポート医、認知症サポート医、地域包括支援センターや介護支援専門員の方々のご経験を共有することにより、医療・介護・福祉の連携の在り方、地域の相談支援能力向上に多くの示唆を得ることが期待されます。つきましては、多くの皆様にご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

日時 令和4年11月7日(月) 午後7時から9時
開催方法 Zoom ビデオウェビナーによる Web 開催
対象 松戸市医師会会員、松戸市内で医療・介護に従事する専門職、行政等
内容 令和3年度および4年度上半期アウトリーチ事例についての報告ならびに検討
※予定事例概要につきましては、裏面をご参照ください。

申込期日 令和4年10月25日(火)

申込方法 右QRコードをスマートフォン等で読み取り申込フォームよりご登録いただくか、松戸市在宅医療・介護連携支援センターのホームページからお申込み下さい。



(<https://matsudo-zaitaku.org/>)

※個人での申し込みが必要です。団体での申し込みは出来ません。

※携帯会社のキャリアメール (@docomo.ne.jp など) には、当方からの返信メールが届かない場合があります。必ず (@matsudo-zaitaku.org) からのメールを受信できるように設定してください。

◎今回、教育セミナーも企画しております。詳細につきましては、裏面をご覧ください。

【お問合せ】

事務局 松戸市在宅医療・介護連携支援センター
電話 047-701-7533 FAX 047-701-7535
担当 浮ヶ谷 松澤

令和4年度 第2回アウトリーチ事例の概要

事例①	『アウトリーチ後も医療・介護につながらず、包括でモニタリング継続となった認知症独居高齢者』 相談者：矢切地域包括支援センター 増子 麗氏 地域サポート医：小山内科クリニック 杉田 俊寿先生
事例②	『アウトリーチをきっかけに本人が精神科入院につながり、ひきこもりの次男も支援に繋がった家族まるごと支援』 相談者：小金地域包括支援センター 今重 留美子氏 専門サポート医：生駒会 松戸診療所 遠藤 明先生 (代 精神保健福祉士 長島 美奈氏)
事例③	『夫婦ともに決断力がない為、双方がキーパーソンになり得ず、セルフネグレクト状態にあった世帯への支援』 相談者：明第1地域包括支援センター 永田 恭子氏 専門サポート医：あおぞら診療所 北田 志郎先生
事例④	『長期不登校・高度肥満を機にアウトリーチ後、医療につながったものの、母が支援者を敬遠する世帯事例』 相談者：児童生徒課スクールソーシャルワーカー 小暮 睦真氏 地域サポート医：わざクリニック 和座 一弘先生

教育セミナーのご案内

過去に開催したアウトリーチ事例検討会におけるアンケートで、難易度が高く理解が難しいとのご意見を頂きました。これを踏まえ、事例検討会開始前に、理解促進の為に教育セミナーを開催します。

本教育セミナーは、認知症の方の事例を用いて、認知症患者の病理やその軌道、支援に必要な視点、その対応策等について丁寧に説明し、更にアウトリーチ制度の概要についても説明致します。

受講対象者の制限は特に設けておりません。介護支援専門員や地域包括支援センター職員をはじめとする相談職、介護に従事される方々は是非ご参加下さい。ことに初任者の方々には積極的にご参加くださることをお勧めします。

○日 時 : 令和4年11月7日(月) 午後6時30分から6時55分

○開催方法・申込期日および申込方法: 表面に準ずる

○内容 : 『認知症独居高齢者のセルフネグレクトと消費者被害』

事例提供者: 本庁地域包括支援センター 佐藤 紫氏

地域サポート医: あおぞら診療所 住谷 智恵子先生